

佳作  
(中学部門)

北九州市立守恒中学校 (福岡県) 3年

のぐち  
ななみ  
野口 菜々美

桜が散る、梅がこぼれる、菊が舞う、牡丹が崩れる

小学生のときの先生

私が、今までで一番美しいと思った言葉だ。当時、何となく国語が嫌いで、国語の時間になるといつも憂鬱だった私に先生が教えてくれた。

「日本語って似たような意味の言葉がたくさんあって面倒だ」と思っていた私は、その表現の美しさに大きな衝撃を受けた。

単に「花が枯れる」だけでも起きた現象を伝えることはできるけれど、その花の美しさをそのまま伝えきるのは難しいだろう。きっと、美しい言葉を使うことで、より鮮明に、正しく感動をお裾分けできるのだと思う。この言葉を知ってから、私の世界はもつと鮮やかになった。